

児童労働撲滅のための 学校プロジェクト

- ILOの統計によると全世界では、5~14歳までの1億6,000万人以上の子どもたちが児童労働に従事しており、このうち約1億人はアジア太平洋地域で占められています。JILAFは児童労働対策を推進するために、現地のナショナルセンターであるインド全国労働組合会議(INTUC)、ネパール独立労働組合会議(NTUC-I)と協働で非正規学校を運営し、児童労働に従事している子どもたちに基礎的な教育を受ける機会を提供するとともに、公立学校への編入を進めています。この学校プロジェクトでの卒業人数と公立学校への編入率はネパールで7,010人・85%、インドで291人・80%となっています。

Non-formal schools for child laborers in Nepal and India



マーカプール校卒業生 ジャガナダン・クマーリ



私の家は非常に貧しかったため、学校に通うこともできず、オレンジ農場で働かされていました。しかし、JILAFが支援しているマーカプール校に通うことができ、農場で働かずに勉強することができました。JILAF校に通うことができなかつたら、私に教育を受ける機会は訪れなかつたと思います。

昨年は公立学校に編入することができましたが、JILAF校の先生の方が優しく、生徒が理解するまで熱心に教えてくれます。私の将来の夢は、JILAF校の教師になることです。

ネパールの学校所在地

